

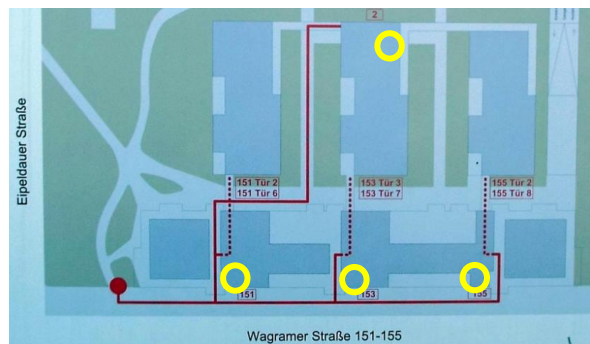


(一社)日本木造住宅産業協会 視察報告書より

オーストリア・ウィーンに2013年に竣工した集合住宅で、2008年までの建築規制改正により木造での中高層が可能になり初めて建った木造7階建てです。1階と3か所の階段室コア（防火ゾーンも兼ねる）等はRC造、2～7階は壁・床・屋根にCLT（直交集成板）を用いた木造で、火災や遮音に対する試験を経てCLTは内外装とも被覆されて用いられて、水平力はRC造部分に負担させているようです。大通りに平行に建っていて、背後の3階建て部分の防音壁にもなっているとのこと。3階建て部分には外装にも木材が用いられています。3階建ての2階・3階は屋根付きの渡り廊下で7階建てと繋がっています。延べ面積9,240㎡で、CLTを約19,400㎡・2,400㎡用いたそうで、大型パネル化により木工事の工期は5か月だったとのこと。



外観は木造に見えない



エレベータは4か所



2・3階に屋根付き渡り廊下



3階建てどうしにも渡り廊下



スリットを設けた板張り外装



敷地の南端は公園になっている

この集合住宅は、ウィーン中心部から北東 8 km 程のところす。ステファン大聖堂がある Stephansplatz 駅から地下鉄 U1 線で 9 つ目の Kagraner Platz 駅から、Wagramer Straße を 400m 弱北上した Eipeidauer Straße との交差点の左先に建っています。

<google 地図参照> <https://www.google.co.jp/maps/@48.2544594,16.4461684,18.41z>

Kagraner Platz 駅の周辺には、日本では見られないような大きな跳ね出しの、大胆な構造計画のビルも建っています。



凹凸の多い外壁面で小窓がある部分は住宅、反対側の連窓の方はオフィスと思われる



<寄り道>

地下鉄 U1 線でウィーン中心部からの中間点辺りでドナウ河を渡った Kaisermühlen VIC 駅には、国際機関の集まりであるウィーン国際センター（VIC は Vienna International Centre）があり、国連ウィーン事務所(UNOV)もあります。東西冷戦時代に永世中立を宣言したオーストリアとしての安全保障上の目的もあって誘致されたとのことです。

(写真撮影日：2013.10.12)

これまでの「おもしろ建築物紹介」で、ウィーンやその近郊のものが 3 か所ありました。今回のその 22 の位置からの概略の方向と距離は、その 1「ガスタンク住宅」は南 8km、その 5「ショッピングリゾート」は北 10km、そしてその 14「ミュールベック集合住宅」は北西 6km です。現地までの足はそれぞれのところに書いていますが、レンタカーでもあれば、全てを簡単に回れる範囲です。

また南東 5km 程のところには、ホテル・オフィス・マンション・レストラン等が入る「HoHo Wien」という木造 24 階建て・高さ 84 m のビル（階段室コア R C 造 + C L T 構造）も、最近竣工したようです。ウィーン中心部からは東北東 10km 程で地下鉄 U2 線の終点 Seestadt 駅の近くです。現在のところノルウェーの Brumunddal（オスロの北 100km 程）にある Mjøstårnet（高さ 85.4m）に次いで世界で 2 番目に高い木造の高層建築物と紹介されています。木造化で建設コストも上がっているようですが、車で 2000 万 km 走ることで発生する CO2 が削減できているとのことです。イギリスでは、80 階建て・高さ 300m の木造建築も計画中的とのことです。これらの建築物も機会があれば見学したいものです。どなたか既にお出掛けになられた方がいらっしゃいましたら、情報をお寄せください。

